

第 75 回定期総会

古屋範子 衆議院総務委員長祝辞

全国町村議会議長会定期総会に当たりまして、衆議院総務委員会を代表して、一言、御祝いを申し上げます。

はじめに、日夜、町村議会運営の重責を担われ、地域の発展と住民福祉の向上のため、献身的な御努力を重ねておられる皆様に、深く感謝の意を表する次第であります。

また、本日、自治功労者あるいは優良な町村議会として表彰の栄誉を受けられました皆様に、心からお慶び申し上げますとともに、多年にわたる御貢献に心から敬意を表します。

元日に発生した能登半島地震では、奥能登地域を中心に甚大な被害が生じました。改めて、この地震によりお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

国や被災自治体では、現在、災害対応に総力を挙げて取り組んでおりますが、いまだ多くの方々が不自由な生活を余儀なくされています。衆議院総務委員会といたしましても、被災地の一日も早い復旧・復興のため、尽力して参ります。

近年、住民ニーズが多様化・複雑化する中であって、団体意思を決定する町村議会の役割はますます重要となっております。一方で、地方議会に関しましては、議員のなり手不足への対応、議員構成の多様性の確保などの課題が指摘されております。

国会におきましても、これらの課題に真摯に取り組んでおり、一昨年には、地方議員の兼業規制を緩和する地方自治法の改正、昨年 4 月には、地方議会の役割や議員の職務等を明確化する同法の改正がそれぞれ行われました。

今後も、地方議会に多様な人材が参画できるような環境整備に向け、地方議会の皆様と連携しつつ、引き続き、必要な検討を進めてまいり所存です。

また、今国会には、地方制度調査会の答申を踏まえ、国の地方自治体に対する補充的な指示権の創設といった重要な事項を定める地方自治法改正案の提出も予定されております。

衆議院総務委員会といたしましては、地方に関する重要法案の慎重な審査に努めていくとともに、こども・子育て政策の強化、地方行政のデジタル化な

ど、地方が直面する様々な重要課題に安心して取り組むことができるよう、必要な財源の確保を始め、その取組をしっかりと後押しするために、力を尽くして参ります。

結びに、改めまして被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りするとともに、皆様方の益々の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、私の祝辞といたします。

令和6年2月8日

衆議院総務委員長 古屋 範子